

標準

(1/5)

区分・種類 部業務標準	施行範囲 トラック関連部門	分類番号 BJ63-02		
名称 保冷・冷凍バンの解体要領について		所轄部門 トラック事業部		
環境の保護と資源の有効活用により、使用済みのアルミバンを解体する時の作業の注意および手順について下記とおりとしますので、確認のうえ作業をおこなってください。 ・解体作業の注意 1. 安全な作業を行うに当たっては、定められた作業服、作業帽、安全靴を着用し、作業内容に応じて保護メガネ、耳栓、防塵マスク等の保護具を着用してください。 2. 高所作業については、安全帯、足場の確保等転落防止の処置を講じて行ってください。 3. 油脂・液材系の除去・回収に当たっては、地下浸透や施設外流出が発生しない様な環境および方法で行ってください。 4. 上記注意事項以外に、以下の法律を遵守してください。 ・廃棄物処理法 ・労働安全衛生法 ・大気汚染防止法 ・水質汚濁防止法 ・騒音規制法 ・毒劇法 ・消防法 等				
施行日 2003. 10. 1		準拠参照		
制定 2003. 10. 1		原本保管部門 トラック事業部 開発設計グループ		
改1 2004. 4. 23				
沿革	改2	サイン欄		
	改3	承認	審査	作成
	改4	石井	藤村	原城
	改5			
	改5			

冷蔵、冷凍バンの解体分別は、下記要領で実施をお願いいたします。

1) 冷媒フロンの回収

冷凍車についてはフロン回収破壊法に基づき、第一種冷媒フロンの回収済みであることを確認する。

2) 冷凍機の取り外し

- ①冷媒配管を庫内、庫外のフレアーナットをはずし分離する。
- ②冷凍装置は庫内エバポレーター、庫外（ノーズマウントまたはアンダーマウント）共取付けボルトをはずし分離する。
この際装置が落下しないよう受け台を用意する等安全には注意すること。
- ③配管、ハーネス類はバンボデーまたはフレームにビスまたはリベットで固定されている。リベットはφ5～6mmのドリルにてリベット芯部に穴をあけることで簡単にはずれる。

3) ボデーのシャシからの分離

- ①ボデーはシャシフレームに縦根太を介しUボルト（片側3～6箇所）で固定されており、この締め付けナット（M8～M12）をはずす。
- ②シャシフレームと縦根太をUボルトの他に専用ブラケットで固定している場合があり、これも取付けボルトをはずす。

4) サイド・リヤドアの取り外し

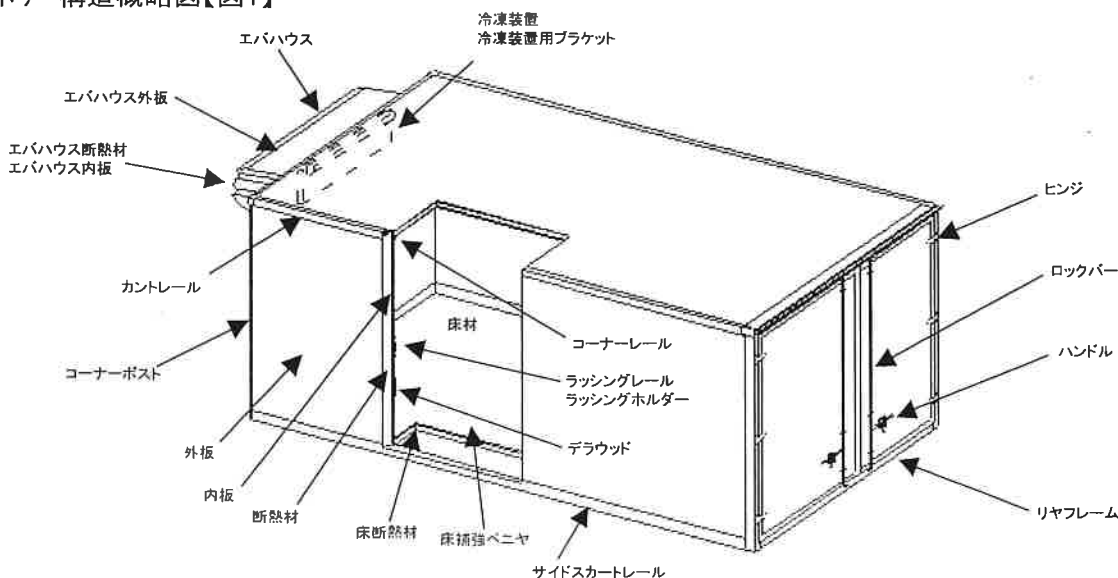
- ①ドアおよびヒンジはM8ボルトを取り外してボデーから取り外す。
- ②取り外したドア内外部につけられた部品はリベットまたはボルトを除去し取り外す。

5) ボデーの解体

- ①ボデーの解体時に断熱材が燃える恐れがあるので溶断等火気は使用せず、丸ノコ、サンダー等を使用する。
- ②パネル表面に部品が取付けてある部分のリベットとシーラーを分離し部品を剥離分解する。

解体後の適正処理ルートが確保されており大型機械を使用する場合は下記のボデー構造図を参考に実施してください。【図1】

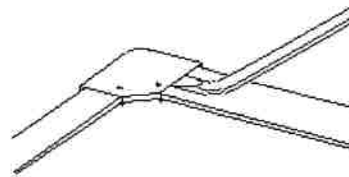
ボデー構造概略図【図1】



機装部品

【図2】

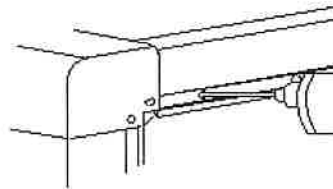
- ①ボデー内外部の灯火類および
取付部品は全てボルトまたはリベットで
取付けてあるので、全て取り外す。
リベットについては芯径よりやや太い
ドリルで芯部に穴をあけ分解する。



枠材

【図3】

- ①ボデー外上部各コーナーブロック
はリベットおよびシーラーで固定
してあるのでドリルでリベットを
分離後バール等の道具で剥離
分解する。【図2】



- ②ボデー外上部・前部の
カントレール・コーナーポストは
リベットおよびシーラーで固定して
あるので前述の要領で剥離分解
する。剥がしにくい時は、バーナー
で炙りながら行うとよい。【図3】
- ③ボデー外下部の両サイドのスカートレールはボルトで横根太に固定されており、これを
インパクトレンチ等ではずし分解する。ボデー本体とはリベットおよびシーラーで固定して
あるので前述の要領で分離する。
- ④ボデー内側上部・前部のコーナーレールはリベットおよびシーラーで固定してあるので
前述の要領で分離する。
- ⑤扉部内側全周のエッジプレートはリベットおよびシーラーで固定してあるので前述の要領で
分離する。
- ⑥リヤ上部のドリップレールはリベットおよびシーラーで固定してあるので前述の要領で分離
する。

エバハウス

- ①エバハウス付のボデーはエバハウス内外の化粧材および接着剤で固定して
あり、化粧材のリベットをはずしバール等でエバハウスを分離する。

パネル取り外し

- ①ルーフパネルはサイド・フロントパネル上端およびフレームアッパーメンバーとの接着面の
シールを切除し、庫内よりルーフパネルを押し上げることでルーフが外れるので、フォーク
リフトまたはクレーンで分離する。
- ②サイドドアフレームはリベットおよびシーラーでサイドパネルとフロアに固定してあるので
シールを切除し、ドリルおよびインパクトレンチ等で除去し分解する。
- ③リヤフレームはリベットおよびボルトおよびシーラーでサイドパネルおよびフロアーに固定
しており、サイドドアフレームと同手順で取り外す。
- ④サイド・リヤフレームに取付けられたロック、ヒンジ等はボルトを除去し取り外しておく。
- ⑤フロントパネル外部下部は第一クロスメンバーとリベットおよびシーラーで固定されており、
シールを切除し、リベットをドリルで除去する。
- ⑥フロントパネル内下部にはフロアプロテクターがリベットで固定されており、これをドリルで
除去する。
- ⑦フロントパネル内下部にはフロアカバーがリベット及びシーラーで固定されており、シールを
除去し、リベットをドリルで除去する。
- ⑧リベットを除去したフロントパネルはバール等でサイドパネル側より持ち上げながら
分離する。
- ⑨サイドパネルは内外部をフロントパネルと同方法で固定されており(第一クロスメンバーが
スカートレールに変わるのみ)同手順で取り外す。

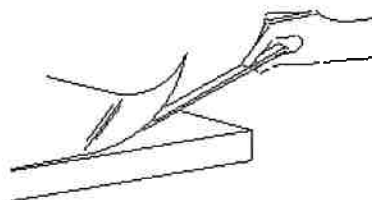
フロー分解

- ①フロア上面の表面材(アルミ平板・縞板・ステンレス平板)はシーラーで固定している。表面材の上からガスバーナー等で炙り接着剤を破壊しながら、端末よりバールで剥がしていく。
- ②フロア表面材がキーストン(波板)の場合はビスにて固定後この部分をシーリングのため溶接してある。この溶接部分を一字ドリルで穴を開け分離する。
- ③フロア表面材がT型材の場合は両端部のT型材の溶接部をビードに沿って溶断する。
- ④前後の溶接シーリング部も溶断し、端末部をバールでこじ開け分解する。
- ⑤端末材をこじ開けるとT型材はビスにより床に固定されているので、ビスを除去することで順次型材を分離する。
- ⑥表面材を除去した後、横根太の上部にあたる部分で、合板上面よりフロア本体がロングビスにより横根太に固定されているのでこれを除去し、根太と分離する。
- ⑦フロアを反転し裏側の表面材をバール等により剥離する。
- ⑧ドア部木材の枠をバール等により分解する。
- ⑨断熱材をヘラ状の道具で分解する。

ルーフ・サイド・フロントパネルの分解

【図4】

- ①パネルは内外表面材(アルミ又はFRP)と断熱材の間にヘラ状の道具を差し込み分離していく。【図4】



ドアの分解

- ①ドアはビスおよびリベットでシールゴムと額縁材を固定している。このビスおよびリベットを除去し、パネルよりシールゴム・額縁材をバール等で分離する。
- ②内外表面材はヘラ状の道具で断熱材と分離する。
- ③内外表面材に接着固定してある補強類はバールにより分離する。

最後にハーネス・鉄・アルミ・ステンレス・樹脂(FRP他)・ゴム類・木材等材料別に分離し適正処理をお願いします。

ボデーに関する問合せ先

三菱ふそうバス製造(株)トラック事業部
業務グループ TEL(076)465-5416 FAX(076)465-5426